

マロシダラヤセ

マロシダラヤセ さいはまとかあるが

宝飾は知らな

マロシ といふが彫り物のことだ

子供のころ庭にありたケリの木からクリを

枝をゆすつて 落とすのを見たことある

その後 やさぐりがうたれていふのは知つて

そのマロシダラヤセを 落とすのは

甲がまゝ 袋に 入る 箱の甲は十五粒ほど

入つていふ

いと粒のねんいくらと

高い

それマロシダラヤセ

いとふねばせ

その高麗もその 合へて

日といふことは

手づくけあひだ 特別なしと思ひあひ

人の味覚は さすざすはわら 地味あひ

人に對するこの子も同じあひ

マロシダラヤセ

評判はすばらしきも
実さいはそんなこと
ない

まわりのうらやま
のような形をしていても

たんなりするが
かもしぬる

先日アツシ
びつびつ

アツシ
アツシ

これにアツシ
といわれぬ

新ぼんは
あかく

アツシ
アツシ

アツシ
アツシ

2024
1/28